

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

今月のおすすめ —春夏の冷え対策に—



薄着でも気にならない、

「シルク キモチイイ せいかつ」シリーズ

身体の冷えが慢性的になりがちな女性へ朗報。冬用の「絹と炭のウォーマー」で着々とファンを獲得しているアスカムから、春夏用薄手のシルクウォーマーが販売開始になりました。シルクは、アミノ酸を含む肌の成分に近いタンパク質から出来、優れた吸放湿性と天然素材の上品な肌触りが心地よい製品です。夏も手放せないアイテムになりそうです。

<価格> ※すべて税込価格

(左) 絹の腹巻き 2,376円 / (中央) 絹の日よけ腕用 2,160円

(右) 絹の温もり足用 2,160円 / 絹の靴下フットカバー 1,296円

monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 「天女の羽衣スカーフ展」5/3（火）まで



5月4日(水)～5月31日(火)

はじめてのはだか麦展 2016

玄米の約3倍、精白米の約20倍の食物繊維！食感楽しい“はだか麦”のご紹介です。昨年に続く2度目の今回の展示では、加工品が登場します！



6月2日(水)～6月14日(火)

shigaasa展 ～麻と暮らす2016～

見た目にも肌触りも爽やかな麻素材の寝装具で、気持ち良い生活をサポート！避けられない蒸し暑さとうまく付き合う、麻製品をご紹介します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当：川田

tel : 03-6279-0688 mail : info@monova-web.jp WEB : <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

2016年度常設スペース 新規参加メーカーのご紹介

2016年4月から、新たに4社のメーカーが加わりました。
残してゆきたい日本文化、また新たなスタンダードとなり得るものづくりを、ぜひご覧ください。



ギルディング(金属箔)和紙・愛媛県 **IKAZAKI**

温もりのある手漉き和紙を、世界に向けて発信

愛媛県内子町五十崎地区の伝統工芸・五十崎(大洲)手漉き和紙。和紙産業及び地域経済活性化を目的に2008年に創業しました。壁紙・タペストリー等のインテリア装飾素材や和綴じ帳・ポストカード・ブックカバー・紙風船などのステーションリー雑貨の製造販売を行っております。フランスの金箔技法ギルディングとの融合した技術は五十崎社中のオンリーワン技法。新たなく和紙のある生活>を国内外へ提案します。 <http://www.ikazaki.jp>



陶器 鬼瓦／愛知県 **鬼瓦家守 onigawara iemori**

日本の住文化と伝統を守る、新しい役割を担う鬼瓦

新東株式会社は、粘土瓦全国シェア7割を誇る『三州瓦』を愛知県高浜市で製造しています『鬼瓦家守』は、失われつつある日本の伝統住文化『鬼瓦』を現代風にアレンジしたインテリア商品であり、『鬼師』のPRと鬼瓦に『守られて暮らす』文化の継承を目的としたブランドです。この事業には9人の地元鬼師が参加。高浜市の「ふるさと名物応援宣言」を受け、「地域産業資源活用事業計画」に認定されています。 <http://www.onigawara-iemori.jp/>



インテリア 家具 遊具／東京都 **Sixinch**

子供にも安心・安全な塗料を使用した、ソフトファニチャー

sixinchは、デザイナーのピーター・ジャマートと実業家のミッシェル・セルスの二人によって2003年に生まれたベルギーのコンテンポラリー家具ブランド。ポリウレタンフォームに「フォルムコート」を施した革新的デザインが特徴の家具はソフトな触感を持ち、様々な空間にくつろぎを与え、世代を問わず創造的なシーンを可能にします。サイズや色は自由に選ぶことができ、屋外でのご使用も可能です。sixinch japan製品はすべて日本国内で製作されています。 <http://www.sixinch.jp>



奈良一刀彫／奈良県 **NARADOLL HIGASHIDA**

奈良に800年続く伝統、一刀彫本来の姿を目指しています

奈良一刀彫は大胆な面で彫りあげ、日本画の絵の具で繊細な彩色を施すのが特徴です。そのシンプルな面の構成は小手先の装飾で誤摩化さず、まやかしのない真実の姿を伝えるためとも言われています。元は人々の生活に寄り添っていた奈良一刀彫の姿を目指し、NARADOLL HIGASHIDAはデザインを取入れ現代の生活に調和させたモノづくりをしています。 <http://naradoll.com/>

OZONEクラフトマーケット連動企画 クラフト素材販売コーナーを展開します！

2016年4月29日（金・祝）～2016年5月5日（火）

毎年恒例のOZONEクラフトマーケット。7日間にわたり、工芸作家が通路にブースを構え賑わうイベントです。monovaも一部にコーナーを設け、畳縁やビーズ、染めなど手作りを楽しめる素材・キットや作品を販売します。



OZONEクラフトマーケットは、家具、照明、器などの生活用品からバッグやアクセサリなど身の回りの小物まで様々な分野の作り手が自らの作品を展示、販売するマーケットイベントです。期間中、のべ180組の出展者が出展、使い手と作品を通してさまざまなコミュニケーションが生まれます。さらに作り手の実演や手づくりのワークショップ、創造力をひろげる「素材」マーケットも開催します。手づくりのある暮らしとその魅力に触れられる内容です。

■OZONE HP

http://www.ozone.co.jp/event_seminar/event/detail/12

■クラフトマーケット 特設サイト

<http://www.ozone-craft-m.com/>

【monovaクラフト素材／製品販売内容】



1) 畳縁生地・製品／高田織物株式会社



2) ビーズ製品(手づくりキット)／トーホー株式会社

3) ビーズ刺繍作品／Kei Ferida

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

天池合織株式会社 主催
「天女の羽衣スカーフ展」を開催！
 2016年4月7日（木）～2016年5月3日（火）

天女の羽衣スカーフ コレクション！2016年春夏の新作をお届けします。
 シャンブレー×プリントやシルクのバイカラーなど、光の加減で表情が変わるスカーフをご紹介します。

天女の羽衣®
 Amaike Super Organza



春夏のシックで華やか

纏いたいスカーフ、贈りたいスカーフ

始まりの季節は、新しいことへのチャレンジやお祝い、感謝の季節。自分自身や誰か大切な人へのおとておきの1枚に天女の羽衣の春夏の新作スカーフをご紹介します。天女の羽衣は毛髪の約1/5～1/6程の極細ポリエステル繊維を織り上げた世界最軽量級の素材です。軽さ、薄さは軽やかなスタイルを演出し、なめらかで透明感豊かな光沢は、きらきりとコーディネートを明るくしてくれます。

【展示商品内容】

1) シャンブレー×オリジナルプリント(写真左)

玉虫色の2色の色合いが特徴のシャンブレー生地には幾何柄のオリジナルプリントを施したマニッシュなスカーフ。キリッと上品な印象に。

2) 銀箔スカーフ(写真中央)

京都の変色しない銀箔加工を施したシリーズ第2段。大判サイズの手作業によるショール。プリントスカーフや手持ちの異素材のスカーフと合わせても奥行を感じさせる贅沢な1枚。

3) シルクバイカラースカーフ(写真右)

好評のシルクシリーズより春色のバイカラースカーフは、まるで2枚のスカーフを巻いているかのような。シルクとポリエステルの重なりが生む美しい発色も楽しめます。

◆天池合織株式会社◆

合織の産地として有名な北陸、石川県七尾市に1956年創業。インテリア、スポーツ、産業資材など、各分野で高付加価値織物の糸加工から製織工程まで自社一貫で製造開発している。2006年より世界一軽く薄い「天女の羽衣®」をヨーロッパ有名メゾンへの直接輸出を始める。2009年からは自社製品天女の羽衣スカーフを展開。2010年にはパリオペラ座の舞台衣装に起用される。「技術開発型」メーカーの基盤を確立し、自社ブランド化を目指す。2013年 第5回「ものづくり大賞」経済産業大臣賞受賞。2014年 グッドデザイン・ベスト100、特別賞「未来づくりデザイン賞」受賞。2015年 ドイツICONIC AWARDS 2016 Best of Best, Winner受賞。2016年 OMOTENASHI SELECTION 2016 受賞

—開催概要— 天女の羽衣展

会 期：2016年4月7日（木）～5月3日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：天池合織株式会社

讃岐はだか麦本舗 主催
「はじめてのはだか麦展 2016」を開催！
 2016年5月4日（水）～2016年5月31日（火）

玄米の約3倍、精白米の約20倍の食物繊維！食感楽しい“はだか麦”のご紹介です。
 昨年に続く2度目の今回の展示では、加工品が登場します！


 讃岐はだか麦本舗



国産大麦の首都圏PR展示会

業界初！玄米ならぬ玄麦のグラノーラ新発表

健康食材として知られる大麦。しかし大麦は、米の代用品として捉えられてきた時代も長く、未なおそうしたネガティブなイメージを持っている方も多いようです。この展示は、そうしたイメージを覆し、より手軽に身近に美味しく国産の大麦を食べてもらおうと活動をスタートした「讃岐はだか麦本舗」の製品をご紹介します。「讃岐はだか麦本舗」は香川県で育った大麦の一種であるはだか麦を使用して商品展開をしています。はだか麦は、自分の力で殻を割って出てくることから名付けられた大麦で、外皮のないままに収穫できるのが独自の特徴です。そしてその食べ方について試行錯誤した結果、生まれたのが、丸ごとはだか麦本来の美味しさが伝わる「玄麦」で食べるという発想です。この展示では、この玄麦の状態からパフ化し、4月1日から発売する朝食におススメの「ヌードグラノーラ」を中心にご紹介します。気軽に美味しく食べて健康になれる新しい麦食の提案です。

【展示内容】

- 1) 讃岐はだか麦本舗 商品紹介
- 2) ヌードグラノーラ、押麦・丸麦・玄麦、焼酎裸麦
- 3) グラノーラのレシピ紹介
- 4) 讃岐はだか麦本舗 活動紹介
- 5) 「はだか麦のミニ講座」の実施

◆ 讃岐はだか麦本舗 ◆

明治21年創業の香川県の歴史ある精麦会社である高畑精麦株式会社が2014年に大麦の一種であるはだか麦のPRを目的に立ち上げたブランドです。1児の母でもある店主の高畑実代子さんが、素朴なはだか麦の魅力を活かした手軽に美味しく食べられる麦食の提案を目指し、日々奮闘しています。東京の展示会にて大好評を得て、地元・香川県でもマルシェに参加する等、地域に根ざした活動も実施中です。

<http://www.hadakamugi.jp>

－開催概要－ はじめてのはだか麦展 2016

会 期：2016年5月4日（水）～5月31日（火）
 10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料
 会 場：monova gallery
 東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階
 主 催：讃岐はだか麦本舗

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

滋賀麻工業株式会社 主催

「shigaasa展 ～麻と暮らす2016～」を開催！

2016年6月2日（木）～2016年6月14日（火）

見た目にも肌触りも爽やかな麻素材の寝装具で、気持ち良い生活をサポート！
避けられない蒸し暑さとうまく付き合う、麻製品をご紹介します。



日本の夏に天然の麻を

特許素材の麻わたを使った寝具などをご紹介します

リネンやラミーなどの麻素材は、日本の蒸し暑い夏にはもってこいの天然素材です。吸放湿性が高く、汗をかいてもサラリとするほか、接触冷感することもその理由です。この展示では、麻繊維の加工を得意とする滋賀麻工業のオリジナルブランド「shigaasa」の商品をご紹介します。滋賀麻工業が開発した特許素材の「麻わた(a-sarari)」を使った寝具類のほか、近江ちぢみの寝具、また日常で気軽に使えるカラフルなハンカチ、クッションカバー、新作となるチェアマット、サマーブランケットなども紹介します。

【展示内容】

シーツ、ベットカバー、ピローケース、パット、
近江ちぢみハンカチ、クッションカバー、チェアマット、サマーブランケット

◆Shigaasa 紹介◆

Shigaasaは、近江を本拠とし約70年の歴史を持つ麻織物メーカー・滋賀麻工業(株)が展開する麻製品ブランドです。麻は、独特の肌触りがあり、使えば使うほどに風合いが出てくる天然素材。Shigaasaでは、厳選された麻を使用した寝具、リビング用品、日用雑貨などを通じて、麻のある上質な暮らしを提案しています。

<http://www.shigaasa.jp>



—開催概要— shigaasa展 ～麻と暮らす2016～

会 期：2016年6月2日（木）～6月14日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：滋賀麻工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>